

NO 2	(仮称)淀屋橋プロジェクト	中央日本土地建物株式会社 京阪ホールディングス株式会社		
提案概要	大阪の代表的なビジネス街における大規模オフィスビルの新築プロジェクト。ビジネス地区として新たな拠点形成を図るとともに、自立・分散型エネルギーの導入や公共空間拡充による防災性向上等を目的とした計画において、複数ボイドを活用した自然換気システム、排熱回収・中温冷水利用を中心とした高効率熱源システム等の省CO2技術を導入する。			
事業概要	部門	新築	建物種別	建築物(非住宅・一般部門)
	建物名称	未定	所在地	大阪府大阪市中央区
	用途	事務所 物販店 飲食店 その他(駐車場)	延床面積	72,740 m <sup>2</sup>
	設計者	株式会社竹中工務店	施工者	未定
	事業期間	2021年度～2025年度		

概評	大規模オフィスビルとして、低温排熱の有効活用などの様々な省CO2対策を導入するほか、健康性・快適性向上に向けた対策にも積極的に取り組む点は、先導的と評価した。地方公共団体とも連携し、実証結果と合わせて積極的な情報発信が展開され、地域への波及・普及につながることを期待する。
----	--

### 参考図



■エネルギーの面的利用  
→優先課題1に対応

- ・京阪淀屋橋駅事務室への熱融通
- ・非常時の近隣建物への電力融通

→既成市街地における面的エネルギー融通の実現

■省エネ行動の誘発

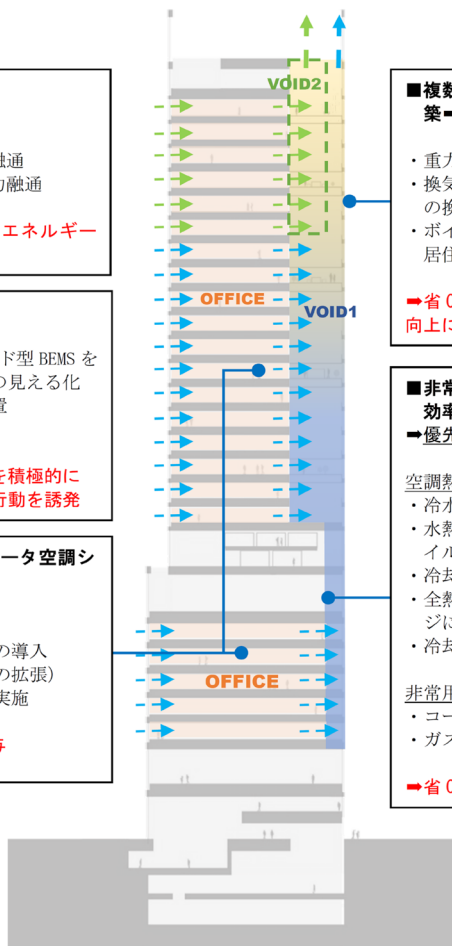
- ・統合ネットワーク、クラウド型BEMSを活用しエネルギー使用量の見える化
- ・電気自動車充電器の設置(エコカー利用者の優遇)

→省CO2に向けた取り組みを積極的に発信し、利用者の省エネ行動を誘発

■オフィス基準階のペリメータ空調システム  
→優先課題2に対応

- ・ミキシング自然換気制御の導入(自然換気が可能な温度帯の拡張)
- ・コールドドラフト対策の実施

→省CO2、快適性向上に寄与



■複数ボイドを活用した自然換気システムの構築  
→優先課題2に対応

- ・重力風力併用型の自然換気と外気冷房
- ・換気風量シミュレーションによる2回/時間の換気確保による感染症リスクの低減
- ・ボイド内テラスの積極的な緑化による居住者の快適性、知的生産性の向上

→省CO2、感染リスク低減、快適性・知的生産性向上に寄与

■非常用電源の二重化と効率的な空調熱源システムの構築  
→優先課題3に対応

空調熱源

- ・冷水、中温冷水利用による潜顕分離空調
- ・水熱源パッケージの補助熱源、外調機予熱コイルにコージェネインタークーラー排熱利用
- ・冷却塔フリークーリングシステム
- ・全熱交換器付外調機+高顕熱水熱源パッケージによる潜顕分離空調
- ・冷却水排熱の外調機再熱利用

非常用電源

- ・コージェネ 400kW×2台
- ・ガスタービン 2,000kVA×1台

→省CO2に加えてBCPの強化を実現